

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【公開番号】特開2014-107881(P2014-107881A)

【公開日】平成26年6月9日(2014.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2014-030

【出願番号】特願2012-256886(P2012-256886)

【国際特許分類】

H 02 P 9/04 (2006.01)

【F I】

H 02 P 9/04 J

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月9日(2015.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

磁極の向きが交互に異なるように円周方向に沿って配列された複数の磁化部(117)を有するロータ(114)と、複数相を構成し前記円周方向に沿って相順に配列された複数の巻線(113)を有するステータ(111)と、を備え、前記ロータには、複数の前記磁化部における前記磁極の反転状況に対応して前記円周方向に沿って配列された複数の被検出部(116)が、前記ロータの回転中心軸から前記磁極の反転位置に向かって引いた直線が前記円周方向における当該被検出部の中央を通るように設けられた、交流発電機(11)と、

前記交流発電機の相数に対応した個数の複数のスイッチング素子(15U～15Z)を備えることで交流と直流との間の双方向の電力変換が可能に構成されていて、前記交流発電機との間で電力の授受を行うように、当該交流発電機における複数の前記巻線に接続された、電力変換器(15)と、

前記被検出部の通過状態に対応した出力信号を生じるように、前記ロータと対向配置された、検出部(17)と、

前記検出部の前記出力信号に基づいて、前記ロータの回転位相に応じた前記スイッチング素子の位相制御を行うための制御信号を前記電力変換器に出力する、位相制御部(13, 14)と、

を備えたことを特徴とする、交流発電システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

請求項1又は2に記載の、交流発電システムであって、

前記位相制御部は、前記位相制御における制御角を所定量変化させたときの前記交流発電機における発電出力のピーク特性を検出することによる前記位相制御の補正と、前記位相制御を補正する補正值のマップを更新することによる前記位相制御の補正とを行うことを特徴とする、交流発電システム。